

なまえ
名前 _____

絵の具でゆめもよう

☆ 教科書（きょうかしょ 図画工作ずがこうさく 3・4年下）の8・9ページをひらきましょう。

☆ 絵の具えぐを使った表あらわし方かたには、いろいろあります。絵の具えぐを使い、さまざまな工夫くふうをして、いろいろなもようをかきましょう。

（3年生の「色・形 ねんせい いろ かたち いいかんじ！」を思い出おもすといいですね。）

【学習の進め方】

① 教科書きょうかしょ 8・9ページや下したの【工夫くふうのしかたの例れい】を参考さんこうにして、どのようなもようあらわが表あらわせそうかかんがを考える。

【工夫のしかたの例】

- ・ 絵の具えぐや水みずの量りょうをかえる
- ・ 筆ふでの使い方つかかたを工夫くふうする
- ・ うすめてといた絵の具えぐをストローでふく
- ・ だんボールをスタンプにしたり、絵の具えぐをつけてこすりつけたりする
- ・ ビーズだまに絵の具えぐをつけて転ころがす
- ・ 型紙かたがみをつくって画用紙がようしの上うえにおき、スポンジに絵の具えぐをつけてスタンピングする。

※ 教科書きょうかしょ 57 ページにも、さまざまな工夫くふうのしかたがのっています。参考さんこうにしてみましょう。

※ おうちにあるものを使うつかときには、おうちのひとひとに聞いてから使つかいましょう。

② 配くばった画用紙がようしに、考かんがえた工夫くふうをもとに、もようあらわに表あらわしてみる。

③ よいほうの作品さくひんを、次つぎの学校がっこうに来くる日ひに提出ていしゅつする。